

Ⅰ学期前半終了。わくわくする『夏』を迎えます。

梅雨が明け、夏休みを前にして一気に夏到来というこゝ1週間でした。いよいよ明日から夏休みが始まります。7月は各学級ともⅠ学期前半のまとめを意識して学級運営を行ってきました。学習面・生活面はもちろんのこと、年度当初に立てたクラス目標や個人目標をあらためて意識させ振り返ることで各自が自分の頑張りや成長に気づくとともに、課題を見つけたせたいと思います。個人懇談会で、担任から4月以降のお子様の成長とともに、課題を伝えさせていただきます。その内容をご家庭でお子様と一緒に話しする時間を取っていただき、夏休み中に気持ちをリセットし、新たな気持ちで夏休み明けを迎えられればと思います。

夏休み前集会では、子どもには「『夏休み健康カレンダー』と『毎日日記』にしっかり取り組んでほしい」と伝えました。「よりよい睡眠」や「タブレット、スマホ、ゲーム」の約束、「適度な運動」は基本的な生活習慣を保つことや時間の使い方を考えることにつながりますので、ご家庭でもご協力をいただき、39日間の夏休みが、子どもだけでなく保護者の皆様にとっても有意義な充実した休みとなりますように。

◇◇◇◇◇校内水泳大会開催◇◇◇◇◇

7月8日、9日、10日の3日間で、低・中・高学年別の水泳大会を実施しました。暑さも気にかかるため、午前中2時間程度での開催です。今年は肌寒い日も多かった水泳学習ですが、限られた時間の中で各学年の水泳の目標達成を目指して、それぞれが本当によく頑張りました。そしてその集大成の大会で自分の記録を大きく伸ばすことができました。また普段の授業でもそうですが、お互い励まし合ったり応援し合ったりする姿も素晴らしかったです。着衣泳も行い、日常ではできない貴重な体験もしています。



☆☆☆☆☆☆七夕にちなんで☆☆☆☆☆☆

7月7日に縦割り班活動で七夕の飾り付けをしました。笹やひもに天の川や提灯などの七夕飾りをつけたり、星形の用紙に記入した願い事を青いビニールに貼ったり…。古くから伝わる行事に触れることは、年を重ねている私としてはとても大事なことだと思っています。このような取組をきっかけに、子どもたちには日本の文化や橋本市に古くから伝わっているものなどに興味を持ってほしいと思っています。自分の生まれ育った国や地域のことを知り、いろんな場面で紹介できることは今後必要となる力だと思っています。



……夏休み、地域で過ごす時間もいいね。……

学校を通じて配布した「はらだ子ども館だより」や「橋本地区公民館報」で、夏休みのいろいろな体験教室等が紹介されていました。はらだ子ども館では、夏休み工作教室があります。「クリームソーダの貯金箱」「くじらの親子」「カラフルランタン」や「きらきらネームのキーホルダー」を作ります。また公民館では夏休みこども教室として「書道教室～美しい文字の書き方を学ぼう～」に「絵画教室～自由なテーマで水彩画を描こう!～」、「マフィンを作ろう～おやつ作りに挑戦!～」や「星と月と太陽(星座早見盤作り)」、また「親子 de 作るトピアリー」があります。そして8月22日(土)には納涼盆踊り大会が市民会館西側駐車場で開催されます。模擬店もあるようです。

これら以外でも、地域で楽しめる活動(地域の夏祭りや手持ち花火の集い等)もたくさん提供されています。夏休みにどこかへ「旅行」という楽しみもいいですが、長い夏休みの一つの思い出として、地域の行事に参加してみるのもいいですね。

これらの取組は地域のコミュニティの充実を目的とするものでもあります。ご家族で参加してみてもいいでしょう。

※それぞれのお問い合わせは直接はらだ子ども館(33-0330)、橋本地区公民館(34-2750)へお願いします。

うちの子、なぜスマホばかり見ているんだろう？

～わかやまネットパトロール通信より～

スマホを取り上げる前に、こどもが求めているものを見てみませんか？こどもがスマホやゲーム、動画を長く見ていると大人は不安になります。「使い過ぎ」「勉強しない」「知らない人とつながっていないか」など。しかしすぐに時間制限や禁止だけで対応すると、こどもとの対話が難しくなることがあります。こどもは、ただ画面を見ているだけではないかもしれません。スマホやゲームの向こうには、その子なりに求めているものがあります。大切なのは、まず「何時間使ったか」だけを見ることではありません。その子が何をしていた、何を楽しんでいた、何を満たしているかを知ることです。「最近どんな動画を見ているの?」「そのゲームのどんなところが面白いの?」「友達どんな話をしているの?」スマホを取り上げたり、制限する前に、こどものやっていることに関心を持ってみませんか？こどもは「自分に関心を持ってもらっている」と感じると少し安心します。一方で「監視されている」「制限されそう」と感じると、話したくなくなることがあります。責めるためではなく、知るために、少しずつ話を聞いてみましょう。こどもを理解することは、甘やかすことではありません。関心を持って話を聞くことが必要なときに相談してもらえる関係を守るための第一歩です。

※ちょっとした記事ですが目にとまったので紹介しました。



1年生 シャボン玉・水遊び



5年生 農園でそだてたスイカをいただきました。